



# てらやっ子

2016年2月号

社会福祉法人成恵福祉会  
寺谷保育園・園だより  
TEL 048 (596) 5471  
FAX 048 (596) 8251  
E-mail: teraya-hoikuen@saitama.email.ne.jp  
http://www.seikei-fukushikai.com/  
携帯 http://seikei-fukushikai.mobirth.com/



発行責任者 鴻巣市寺谷335-1 寺谷保育園 園長 吉田武人

## 巻頭言



十二月号で子どもたちの良い点を見つけ出して褒めていくことが、結構難しい事だと言うお話しをさせて頂きました。動物の躰や訓練と違って、言葉によって褒めたり、叱ったりしながら子どもを育てていくのが人間の特徴だと思いません。同じ事を言うのにも、人それぞれ言い方が違います。言い方ひとつで、話しが素直に聞けたり、イラッとしてしまふのが私たち人間です。

な注意はしても、感情的になつて頭ごなしに怒ることは、非常に少なかつたように思います。私自身、褒められながら育つたと言う記憶がほとんどありません。しかし、頭ごなしに怒られた思い出もほとんどありません。



聖書のヨハネによる福音書の冒頭は「初めに言（ことば）があつた、言（ことば）は神であつた」とさえ記されています。それくらい人間にとって言葉は大切なものとして扱われています。私達も言葉の大切さを、もう一度思い返して見るべきだと思つていきます。

とは言つても私自身、母の

晩年にはとても厳しい言葉を投げかけてしまった事を後悔しています。テレビを点けっぱなしで何時間も居眠りしている母、やかんや鍋をガスでこがしてしまつた母に対して厳しい言葉で叱責していた自分の事を思い出します。自分が年老いていざれ行く道だと自覚しつつ、もつと優しい言ひ方で母に注意出来なかつたかと後悔しております。

自分の息子達を叱りつけた時にも、もつと他の言ひ方が出来なかつたかと思うことが多々あります。子どもたちがどんな時の事を覚えていくか、いざれ行く道に備えて確認してみたいと思ひます。

（園長）



## 職員情報・研修会・会議等への参加報告と予定

2月23日 安心セーフティネット事業  
(鴻巣市総合福祉センター) 川島・廣野

### 2月の予定

- 2月3日 (水) 豆まき集会
- 4日 (木) すみれ組懇談会
- 10日 (水) れんげ組懇談会
- 15日 (月) 赤一小とひまわり組の交流会
- 18日 (木) たんぽぽ組懇談会
- 23日 (火) ひまわり組わくわく参観・懇談会
- 26日 (金) 誕生会
- 3月26日 (土) 卒園式

つくし組（0歳児）



「今日は寒いね」と言葉をお互いに交わす位毎日寒い日が続いていますね。寒くて空気が澄んでいる分散歩ではいつもの景色が一段と綺麗に見えますよ。先日の雪の降った後の散歩でも、太陽に照らされた雪がキラキラとひかり、子ども達もいつもとは違う景色にワクワク。そして道端の雪や田んぼに張った氷を興味津々で見つめてその感触を楽しんで、キャッキヤとはしゃいでいましたよ。冬ならではの良い経験をしました。こんな寒さにも負けない子ども達の姿を見てみると、0歳児クラスにして、たくましさを感じてしまいました。（笑）

又この寒さなのでお部屋で過ごすことも多く、お絵描きや制作をする事もあります。この間は、節分の豆入れを作りました。久しぶりにお絵



楽しいことがいっぱい♪

描きをする、以前に比べ筆圧が強くなり、点々だけ描いていた子が線を描き、線だけだった子がグルグル描きに、子ども達の成長には、いつも驚かされます。0歳児クラスも残すところ後二ヶ月になってしまいました。長を見せてくれるのか楽しみですが、お家の方と一緒に見守っていききたいと思えます。

尚、先日は、お忙しい中クラス懇談会に参加して頂き、有難うございました。お話出来たことは、今後の保育に活かしていきたいと思えます。

（井口）

つくし組（1歳児）

今年の冬は春のような暖かい日から急に雪が降ったりと大忙し。二月を迎え冬らしい寒さを感じるようになってきました。今年度も残すところ二ヶ月となり子ども達の成長を感じる毎日です。

発表会にプレゼントした「でんしゃにのって」の絵本は子どもたちが大好きな本のひとつでした。その本を読み始めると「あっおうちにあるう」「ママとみたの」という声上がり、お家の人と一緒にみてくれているのだなあと嬉しく思います。子どもたちは場面をよく覚えていて「つぎはくまだあ」などと一緒に声を出しています。お部屋にベンチタイプの椅子を置いてみると・・・自然と集まり肩を寄せ合って座り、電車に見立て「ガタンゴトン」がタインゴトン」と言いながら体を左右に揺らしたり「はいおじやまちまちゅよ」と座ってみたり。♪でんし



でんしゃにのって♪



やにのっていきましよう♪唄を口ずさみながら、ごっこ遊びの世界が膨らんでいくようになりました。顔を見合わせて笑ったり会話を交わしている姿はなんともいえない微笑ましさでも可愛いです。

一冊の絵本を通して、たのしいという共通の想いが通い合い友だちとの関わりや遊びが広がっていくようになったのでしよう。生活の面でも言葉数が増え積極的に話しかけてくれるようになり会話として楽しめることが多くなりましたね。コミュニケーションを取れる嬉しさを子どもたち同志も私たち大人も感じられるようになりました。子どもってすごいんですね。ひとりひとりの成長をお家の方と分かち合いながら、ゆっくり向かい合っていけたらと思っております。

二月二十五日（木）クラス懇談会です。皆さんの参加宜しくお願ひします。

（小川）

## れんげ組（2歳児）

大寒を迎え、朝夕の寒さが厳しい

ですが、日中は太陽が顔をのぞかせ、暖かい日もありますね。子ども達は寒さに負けず、冬ならではの雪や霜柱などの自然現象に触れ、冬の遊びを楽しんでいる毎日です。そんな中、クラスでは手洗い・うがいを呼びかけ、最近では「ガラガラうがい」が上手にできるようになりました。日々の積み重ねの成果が見られるのは嬉しいことですね。また、先月から食後の「ブクブクうがい」も始めました。まだ「ガラガラうがい」との違いに戸惑いも見られますが、保育士を真似たり、口から水がこぼれながらも挑戦したりと、子ども達自身で頑張ろうとする姿が多く見られるようになってきています。子ども達の「自分でやる」「頑張ってみる」といった気持ちや意欲を今

後も大切にしていき、進級に向けて気持ちも高めていけたらと思います。

そこで来年度に向けて今月よりお箸を使っていくことを予定しております。それを踏まえ、スプーンやフォークを正しい持ち方で食べられるよう、お家でも練習を続けるとともにお箸の練習もしていただけたらと思います。よろしくお願いします。

※二月十日（水）一六時より、れんげ組懇談会を予定しております。子ども達の日々の様子や来年度に向けてのお話をしたいと考えておりますので、お忙しいとは思いますが、ご参加をお願い致します。

※一月退所のお友だち

えいかちゃん

（田中）



雪あそび、たのしいな～

## すみれ組（3歳児）

今年はずいぶん暖冬かな?と思っていた所に突然の雪に寒さ、体調維持に苦戦している日々が続いているかと思えます。寒さが例年通りになった所で様々な感染症が流行して来ています。ご家庭・園でも手洗い・うがいを徹底して、菌に負けない体力を付けて行きましよう。そして、何回も伝えているかと思いますが「早寝・早起き・朝ごはん」大切に行きましよう。

×結びとお当番活動の報告をしたと思います。×結びはほぼ全員出来る様になってきました。時折おさぼりさんも見られますが、そんな時は必ず保育士に見付かります。行動がよそよそしいものですが、かわってしまいます。子どもでも分かりやすい。お当番活動ですが、朝からしっかりと表をチェック。楽しみにしている証拠ですね。中でも雑巾がけは特にはりきっていて、一回やり方を教えただけで二回目以降はすんなりです。おかげで床がピカピカ。雑巾絞りはまだ保育士が行っているのですが、このペースではすみれさんのうちに教えて行けるかなと今の時点では考えています。色々な事が出来る様になりましたね。

もう少しで進級、今年度はすみれさんも卒園式に参加しお兄さん・お

姉さんの立派な姿を見て憧れを強く抱くと共に緊張感も同時に味わう事になります。子ども一人ひとり感じる事も違うと思えます。この経験を通してまた一つ成長するのではないのでしょうか?毎日の生活・関わり・時間の中で知らず知らずのうちに学んで行っている事が多いと思えます。子ども達の毎日の時間を大切に見つめ、一緒に関わって行けたらと思います。さあもうひと頑張りです。大きいお兄さんお姉さんです。残りのすみれさんの時間の中で学べる事を学べるよう、環境設定をしようと思えます。残りの時間もどうぞ宜しくお願い致します。

（小田島）



フル装備

## たんぼぼ組（4歳児）

今年の冬は暖かくて過ごしやすくと油断していたところへやっぱり冷たい冬がやってきました。たくさん積もった雪に外で雪だるま作りや雪合戦をしたい！とわくわくしていた子どもたちですが、あいにくの雨に変わってしまいましたが、残念そうでした。それでも、園庭に残った雪を集めたり散歩中に氷や霜柱を見つけては手が冷たくなるのも気にせず、そーっと持ち上げて「氷のお家みたい」「キラキラしてるー」と満面の笑でした。

お部屋の中では、かるたや相撲大会で楽しみました。自分の描いたカードは愛着があり、たとえ自分が取れなくても「それ私がかいたの。取ってくれてありがとう！」という言葉も聞かれ、そんなふうと考えているんだな。と感心しました。相撲大会では男の子・女の子関係なく力いっぱい取り組み白熱しました。全身の力を使って思い切り遊べる相撲の楽しさを感じていたようです。惜しくも負けてしまった子もギリギリまで頑張っていました。また、みんなで一緒にやりたいと思います。

年中の学年末を迎えたこの時期、自分自身でできることも多くなり、周囲への関心が高くなっています。年長さんの真似をしたり、お母さん



氷いっぱい集めたよ

のように小さいクラスの子をあやしたり、ルール違反をしている友だちに厳しい指摘をするなんてこともあります。自立に目覚めるこの時期は赤ちゃんの時のような完全な保護の中から社会に向けて一歩踏み出す時期なのでですね。「幼児は肌を離せ。手を離すな。」という言葉があります。乳離れし、いろいろなことに挑戦する我が子を常に親がそばで見守りながら「心配しなくていいよ。何かあったら飛んでいくよ。」というスタンスで、安心感を与えてほしいなと思います。それがあってこそ勇氣を持って外で頑張っていく力が出るのではないのでしょうか。

（工藤）

## ひまわり組（5歳児）

暖冬の時は大雪になるというジンクスは子ども達にとっては、とても嬉しいジンクスのようで、先日の雪の後には心置きなく雪遊びを楽しんでいました。風もすっかり冷たくなり外に出るのが億劫になる中、手や顔を赤くして外で元氣いっぱい体を動かしています。正直に自己申告で「お寝坊鬼を追い出す」と朝の寝起きの様子を伝えてくれました。確かに寒くなるとお布団から出るのが辛いですよね。お昼寝をしない日が定着してきているのでその体力の温存や復活にも睡眠は大事で身体は正直です。感染症も流行時期ですが引き続き生活習慣を見直しながら快適な生活を送れるようにしたいですね。

クラスでは卒園に向けての準備でいろんな事を話しながら取り組んでいます。その中で「うちやんってどんなこ？」という文集の欄があり、みんなで発表し合いました。普段のお友だちの良い所を発表してきたのもあってか、出てくる出てくる!!!こんな風にお友だちの事を観ていたんだな…。良く知っているな。と感心しました。一番寂しいのは無関心です。これだけの仲間の元で沢山の経験や思い出があるのは本当に素敵な事だと思います。更なる

力を発揮できるのも納得です。そして今後の課題は「話を聞いて自分で考えて行動する」です。どこか不安や確信が欲しくて心配になる姿が多く伺えます。いろんなことを経験し出来るようになった今だからこそ乗り越えて「自分は大丈夫！良いんだ！」と自分に自信の根っこをちゃんと持って欲しいなと思っています。そう感じられる機会や場面は日常の中に沢山あり、大事にしながら自立に繋がって行けるようにしたいと思います。

（河野）



せいさくちゅう